

A61Q 化粧品または類似化粧品製剤の特殊な使用

注

注 [2 0 2 6 . 0 1]

1 . 国際特許分類 [I P C] 指針の第 1 0 7 . 2 項の趣旨において、このサブクラスは二次分類のためのサブクラスである。従ってこのサブクラスの分類記号は、特許文献に付与される際に分類記号の冒頭に列挙されない。二次分類の分類記号は、発明情報としてかあるいは付加情報としてかのいずれか一方に該当するよう付与できる。

2 . このサブクラスは、メイングループ A 6 1 K 8 / 0 0 , サブクラス C 1 1 D または C 1 2 N , またはクラス C 0 1 , C 0 7 または C 0 8 に既に正確に分類されている化粧品または類似する化粧製品の使用を包含する。

3 . 当該化粧品等をこのサブクラスに分類する際、当該化粧品等が治療活性を有すると述べられている場合、サブクラス A 6 1 P にも分類する。

4 . 発明の主題が化粧品または化粧製品の特定の使用のみに関する場合、および発明のこの様な主題の化学構造、化合物、混合物または組成物が既知である場合は注意する。この様な場合発明の主題は、発明情報としてメイングループ A 6 1 K 8 / 0 0 またはサブクラス C 1 1 D , およびサブクラス A 6 1 Q にも分類する。さらに発明のこの様な主題の化学構造、化合物、混合物または組成物、あるいは混合物または組成物の個々の含有物のいずれかが探索調査のための重要な情報に相当する場合、それも付加情報として分類してもよい。

- 1/00 メイクアップ剤、ボディーパウダー；メイクアップの除去剤 [8]
- 1/02 ・皮膚着色剤を含有する製剤、例．顔料(粉末剤 A 6 1 Q 1 / 1 2) [8]
- 1/04 ・唇用のもの [8]
- 1/06 ・棒口紅 [8]
- 1/08 ・ほお用のもの、例．ほおべに [8]
- 1/10 ・目用のもの、例．アイライナー、マスカラ [8]
- 1/12 ・おしろいまたはボディパウダー、例．装飾または吸収用 [8]
- 1/14 ・メイクアップの除去剤 [8]
- 3/00 マニキュアまたはペディキュア剤 [8]
- 3/02 ・爪被覆剤 [8]
- 3/04 ・爪被覆剤除去剤 [8]
- 5/00 毛髪手入れ用製剤 [8]
- 5/02 ・毛髪洗浄剤 [8]
- 5/04 ・毛髪パーマネントウェーブ剤または縮毛矯正剤 [8]
- 5/06 ・整髪剤、例．一時的な整形または着色 [8]
- 5/08 ・毛髪脱色剤 [8]
- 5/10 ・永久染毛剤 [8]
- 5/12 ・ヘアコンディショナーを含む製剤 [8]
- 7/00 発毛促進あるいは発毛抑制をする剤 [8]
- 7/02 ・発毛抑制剤または発毛不活性剤 [8]

- 9/00 除毛剤、または除毛補助剤 [8]
- 9/02 ・ひげそり剤 [8]
- 9/04 ・脱毛剤 [8]
- 11/00 歯、口腔または入れ歯の手入れ用製剤、例．歯磨剤、練り歯磨き；口内洗浄剤 [8]
- 11/02 ・入れ歯の防臭、漂白、または消毒用製剤 [8]
- 13/00 香料用の製剤または添加剤（精油または香料それ自体 C 1 1 B 9 / 0 0) [8]
- 15/00 制汗剤または身体の防臭剤（空気の脱臭用品 A 6 1 L 9 / 0 0) [8]
- 17/00 防護剤；外部の影響、例．日光、X線もしくは他の有害光線、腐食物質、バクテリア、またはこん虫の針、から防護するため皮膚に直接接触させる製剤 [8]
- 17/02 ・虫よけ剤を含むもの [8]
- 17/04 ・日光または他の光線から保護するための局所用製剤；局所用日焼け剤 [8]
- 19/00 スキンケア剤 [8]
- 19/02 ・化学的に皮膚を漂白または白化するためのもの [8]
- 19/04 ・化学的に皮膚を日焼けさせるためのもの（局所用日焼け剤 A 6 1 Q 1 7 / 0 4) [8]
- 19/06 ・抗セルライト用のもの [8]
- 19/08 ・老化防止剤 [8]
- 19/10 ・洗浄または浴用剤 [8]
- 90/00 このサブクラスの他のグループには分類されない特殊用途のための化粧品または類似化粧品製剤 [2 0 0 9 . 0 1]

注

このグループへの分類は、化粧品または類似化粧品製剤の特殊な使用が明白に開示されているが、それをこのサブクラスの先行するグループのいずれに分類することも適切でない場合にのみ行われる。